

Pas ā pas

男女共同参画社会へ一歩いっぽ近づくための情報誌

パザパ

新市創刊号

2003.11



ど ち ら を 選 ぶ ?



特集

まずは知っておきたい 男(オトコ)たちのホンネ!?

- P.2~ 特集 座談会「まずは知っておきたい男たちのホンネ!？」
- P.7 寄稿「BE POSITIVE! 男たちのこれからの期待したい」
- P.8 起業・SOHO通信 ネクステージ企画室
- P.9 女性学・ジェンダー研究フォーラムに参加
- P.10 元気なグループ紹介 サッカー女子レフェリースクール
- P.11 お知らせ 男女共同参画を推進するための行動計画
- P.12 男女共同参画の視点で選ぶ絵本

特集

まずは知っておきたい 男(オトコ)たちのホンネ!?



平成15年8月5日 静岡市立千代田小学校PTA室にて

男女共同参画社会の実現に向けて、男性の意識も“共同参画”の方向へと変化してきていますが、家庭での家事・育児参加の実態はまだまだのようです。

男女がよりよい関係を築いていくためには、まずは互いに理解しあい、尊重しあっていくことが大切でしょう。小学生の子どもをもつ男性6人に「男(オトコ)のホンネ」を語っていただきました。ここで語られているのは、「あるべき論」ではなく、「現実論」。男女共同参画社会の実現が、男女の人間的な共生をめざすものであるとするなら、そのためには、パートナーの意識や気持ちを知っておくことが大切。

男と女の協調と協働は、相互理解なしには、一歩も前へ進まないはずです。

さて、男性のホンネから、見え隠れするものは、いったいなんでしょうか。

(台風なみの低気圧の接近で激しい雨と雷のなかで座談会開始)

司会(編集アドバイザー及び男女共同参画課職員)

あいにくの天気の中、ご出席くださりましてありがとうございます。

今日は、「男(オトコ)のホンネ」というテーマの座談会です。まずは、自己紹介から。

石井 娘が3人います。PTA活動が忙しくて(笑)、あまり相手をしてあげていません。最近、子どものことで気になるのは、7月におきた長崎幼児殺害事件。今後どうしていかなければならないか、責任は大人にあると思います。PTAの課題でもあります。

北原 私の母親と、妻と小6、4、1年の3人の子どもがいます。子どもたちはいま夏休みで家にいますが、



ひらの じゅん
平野 潤さん(公務員)

妻と娘(中学2年、小学5年)と義母の5人家族。それぞれの自主性を尊重しています。



とりづか たく
鳥塚 拓さん(会社員)

妻と娘(大学3年)と息子(中学3年)の4人家族。出かける人を送り出す時に、顔を見て「いってらっしゃい」と必ず言うなど「あいさつ」を大切にしています。



きたはら のぼる
北原 昇さん(自営業)

妻と息子(小学6年)、娘(小学4年・1年)と母親の6人家族。いつでも仲良く生活できるように家族とコミュニケーションをはかっています。

仕事も厳しさを増しているけれど、父親のゆるいところも忘れないうべいです。

お父さん！ 子育てでも大切にしましょよう



毎日テレビでは朝から夜遅くまで暗いニュースが多いですね。事件などについて子どもと話すことも多いです。

前林 この3月までPTA活動を4年間していました。現在は静岡市子ども会世話人連絡会の支部長をやっています。家族は妻、高2、中3、小5の3人の子どもがいます。教育の原点は家庭にあると思います。言葉を大切にしたいと考えています。

平野 妻と中2と小5の娘が2人います。静岡県庁の子育て支援室に勤務しています。

曾根 子どもは小4、小2ともうじき2歳になる子がいます。子育てはあまりうまくできないけれど、こういう機会に勉強できればいいなと思います。

妻の社会参加は大賛成 しかし???

(ここで、ビデオを観る。静岡県男女共同参画センターで行われたワークショップを録画したもの。共働き夫婦の「食事の片付けを誰がするか」という即興劇の対話)

司会 ビデオの中には、論点が3つあります。1つめは女性が仕事をしていること。2つめは女性が公民館などでボランティアや社会活動をしていること。3つめは男性が威張っていて家事をやらないこと。まず、女性が仕事をもつことについてのご意見からお願いします。

前林 仕事をするに関しては賛成です。ただし、子どもの成長に支障がない限りというのが条件です。手が離れていくにしたがって働くのがいいと思います。

司会 すると、0歳児保育などは。

前林 子育ては本来、自分たちの手でというのが基本だと思います。

平野 働くことについては当然賛成です。子どもは、小さいうちは母親がそばにいるほうがいいようです。0歳児保育はやめたほうがいいと思います。

曾根 働くことはいいと思いますが、子どもが小さいうちは母親にみてもらいたいです。

北原 働くことは賛成です。それについて、夫婦、家族で話をすることが大事。しかし、小さいときはお母さんが育てることが大事だと思います。

石井 働くことに関しては賛成ですが、子どもが小さいときは、家でみてもらいたいですね。

司会 小さいときというのはいくつくらいまで。

石井 明確に線はひけませんね。ぼくは、妻にまかせっきりですから(笑)。小学校くらいまででしょうか。

前林 小学校のうちはやむをえないでしょう。それでも、高学年になれば……。

北原 低学年でも(3年生くらい)家族で話をして、働くということがわかって、子どもが了解をすればいいけれど……。



いしい まこと
石井 誠さん(会社員)

妻と娘(小学6年、小学3年が2人)の5人家族。家族と共有できる時間を多く取れるようにしています。



そね やすひろ
曾根 康広さん(会社員)

妻と息子(小学4年)、娘(小学2年・2歳)の5人家族。休日はできるだけ家族と一緒に過ごすようにしています。



まえばやし ひろひこ
前林 寛彦さん(会社員)

妻と娘(高校2年・小学5年)、息子(中学3年)の5人家族。家族との関係では、朝の挨拶のほかコミュニケーションを密にするよう心がけています。

男女ともに働くことも社会活動も大賛成

男性にとっても女性にとっても、社会活動への参加は、多くの知識や経験を得ることができ、家族の会話も豊かになりますね！

編集スタッフより一言

曾根 早くても高学年。できたら中学から。

平野 ぼくは、みなさんとは違って、離乳するまでだと思っています。そのときまでは母親主体にならざるをえない。そこから先は、働く環境が整えばいいのですが、現実には厳しいですね。離乳してしまえば、父母どちらかが家にいるというのが理想でしょうか。

石井 今は共働きが普通ですし、働くことに対して否定はしませんね。

司会 なぜ、パートナーが働くほうがいいのですか。

石井 メリットは期待しません。「あなたも一人の人間、働きたいならいいよ」と言います。デメリットは、帰宅しても飯がないってことかな(笑)。子どもがいなければ、家事は分担するでしょうし。

(鳥塚拓さん到着・自己紹介)

鳥塚 家族は4人。妻、娘、息子です。気になっているのは中学生の犯罪。最近の犯罪は、理由がわからないことが多く、気持ち悪いです。妻が働くことについては、条件付きで賛成です。現実問題として、子どもを預かってもらえないですから。中学にあがるまでは、子どもにとって大切なときなので、家に帰るとお母さんがいるということが大事だと思います。子どもの年齢にもよりますが、女性が働くことは、経済的な問題もあり仕方がないです。学費などの負担がかかってきますから。

司会 女性がボランティアなどの社会活動をするということについてはどうですか。

曾根 いいと思います。ただし家事などに影響が出るとなると、やってほしくないですね。男が家にいる夜や休日なら、こちらが子どもをみればいいので問題はないでしょう。

司会 笑顔で送り出しますか。

北原 はい！女房はトールペインティングしています。家で仕事をしているので、10時～15時くらいまでならかまいません。外に出ると、妻も仲間と話したりできて、その話題を家族で共有することもできますから。

家事をやるのは恥ずかしい？

司会 家事をやってからならかまわないということですか。

北原 最低限のことはやってほしいです。

石井 家族に負担がかからない程度で、生きがいになるならやってほしいですね。ただ、休みの日に子どもをみてといわれても、普段接していないので、接し方がわからないから困ります。

基本的に休日は、家族で過ごして欲しいと思っていますが。というのは、男の子ならキャッチボールでもやればいいですが、娘となると戸惑いがあります。

前林 社会参加は、おおいに賛成です。子どもは小さいうちは小さいなりに、成長していけばそれでいいです。家族の迷惑にならないようには、してもらいたいです。自分は片付けなど苦にならないし、実際にやっています。ただし、連日となると…(笑)。子どもと夫は大切にしてほしいですね。

平野 うちの場合は、2人ともフルタイム労働なので、妻には文句を言えません。アイロンかけ以外は家事もやります。土日は僕が料理当番です。家事平等負担というのは、若い人には多いですよ。

鳥塚 これは、どちらが家計を背負っているかということでも違います。しかし、社会活動はおおいにけっこうです。話題が広がりますし、その経験で成長していきますから。女性も、もっといろいろな人に接したらいいと思います。



家事は、家族みんなで話し合っ分担していくというのが、とっもいいですね。

慣れない家事も 前向きに取り組もう！

- 司会** 男性の子育てについてはどう思いますか。
- 石井** 男性が子育てに参加するのは当然のことです。僕は食事も作ります。でも、洗濯物や布団を干すところを近所の人に見られると、恥ずかしいです。だから見えないようにやります。買い物も恥ずかしいですね。
- 前林** ぼくは、抵抗ないですね。店で知人が買い物をしていると、つい笑ってしまいます。この家も同じだなと思って。
- 北原** ぼくは、見られても平気です。妻の下着を干していても、です。妻に買い物を頼まれることも多いです。
- 曾根** 家事をするのは、恥ずかしくはないです。必要にせまられれば、なんでもやります。
- 平野** 休みの日は、家にいるとやらされる(笑)ことになりますが、苦にはなりません。ただ、子どもの学校の支度とかになると気が配れないですね。日頃やっていないので、うまくできません。
- 鳥塚** 洗濯物を干すことは、たまにはやります。でも恥ずかしいですよ。
- 司会** 平気と恥ずかしいとの違いはどこからくるのでしょうか。
- 石井** 社会的通念かなあ。
- 司会** プライドでしょうか。
- 鳥塚** 昔からの慣習が残っているのでは。ゴミ出しはちょっと恥ずかしいです。
- 石井** ゴミ出しはやらされていますが、恥ずかしいです。
- 鳥塚** 行為そのものではなくて、照れくさいんですよ。
- 石井** うちの近所では、みんな奥さんが出しているみたいです。

「男らしさ」 あるにはあるけれど???

- 司会** それでは、男らしさという社会通念について。静岡県男女共同参画センター交流会議が実施した「男性のジェンダー意識調査」によると、男性の2人に1人は、「男らしさ」という社会通念を肯定しています。みなさんは、いかがでしょうか。
- ちょっと手をあげてください。
(男らしさというものはある…6人全員が手をあげる)
- 鳥塚** その逆の女らしさもありませんよね。
- 司会** 調査によると、異性に対しての方が「らしさ」の要求は強いですよ。ところで、男らしさとは、なんだと思いますか。
- 前林** 家庭、妻子を守ることだと思います。
- 平野** 精神的な強さ。
- 鳥塚** 守るということ。女性は家庭を守り、男が守るのは外敵からという意味ですが。
- 曾根** 精神的な強さだと思います。
- 北原** 難しいです。皆さんが言ったことではないのでしょうか。
- 石井** 細かいことを言わないこと。「男は男らしくなければいけない」とは思っていない。強いことが男らしいとも思いません。
- 司会** 中高年の自殺の増加については、男の弱さを感じるという人もいますが。
- 鳥塚** 男は、両手をひろげて家族を守っているけれど、ドンと押されれば弱いですよ。女性のほうが基本的には強いと思います。
- 司会** では、女らしさとは、なんですか。
- 北原** 言葉では言いにくいものがあります。女の人については、外見でみますから。男らしさは、いざというときにどのくらい頑張れるかということ。土壇場に追い込まれたときどれだけふんばれるか。あくまでも気持ちの中での男らしさです。それにひきかえ、女性らしさとは外見的なことですね。



男は強いけど弱くもなる？

家族を平らぐという責任は、一人で無理せず、男女で担いましょう。
男性・女性それぞれ「個人の好み」は「はい」といってほしいね。

編集スタッフより一言



- 石井** しとやかであること。慎ましいとか奥ゆかしいというのではなく、素直であって、一本すじが通っている人のことです。
- 曾根** しいていえば、優しさ。
- 鳥塚** 慈しみ育てる…マリアさまのような。母というイメージです。
- 平野** やはり優しさですね。優しさとはしなやかさ。異性のどこに魅力を感じるかということだと、やはり外面的な美しさです。異性だと感じるということは、そういうことなんだと思います。
- 前林** でしゃばらない、奥ゆかしい、ひかえめという感じで。繊細だと、美しさが顔に出るはずですし。しかし、女らしさと改めて聞かれると、考えてしまいますね。

座談会からみえたもの

BE POSITIVE! 男たちの「これから」

静岡市女性会館運営協議会委員 きむら ゆきお 木村 幸男

若い父親たちは、妻の社会参加には全面的に賛成しているものの、育児や家事は、あまり分担してはいない。「これでは、女性の負担が増えるだけ。意識はともかく行動は、旧人類と同じじゃないか」と、驚いた。

しかし、よくよく考えてみると、明治百年の歴史を背負った男性優位の意識構造が、たかだか3年や5年で簡単に変容するわけがない。むしろ、社会参加を認めるところまでは成長してきたのだから、これから、ようやく次のステップへ進んでいくのだと解釈することが、「ポジティブな共生」の姿勢になるのだと思う。



仕事・家庭・個人生活のバランスをとる工夫が大切ですね。

うまくストレスを解消して...

女性に言いたいけど、言えない一言

- 司会** それでは最後に、ストレス解消法と、このさい「ぜひとも女性に言いたい一言」を。
- 曾根** 女性に言いたい一言が書けないです。満足しているわけでもないのですが(笑)。
- 平野** 「男のメンツをたてろ」ですね。そう言いたくなる人が多すぎますね。気分転換は音楽活動と旅行。ピアノでクラシックを弾くのもいいですね。
- 前林** 長話がおおすぎるということでしょうか。電話、井戸端会議、なんでも長いです。気分転換は、「笑点」の後半の「大喜利」で、1週間の疲れをとります。日曜日には笑ってストレス解消。それで、次の仕事に備えます。
- 鳥塚** 感情的にならずに穏やかにしてほしいです。ストレスのあるときは、音楽を聴きます。ピアノをたたいたりもします。下手の横好きですが、ヘッドホンをして一人で演奏しますよ。
- 曾根** ひとつは、浮かばないですね。しいて言うなら、子どもに優しくすぎるというくらいかな。ストレス解消法は、スポーツなどで思いっきり走ったり、体を動かしたりします。車に乗ることも好きです。家族でドライブしたり、何も考えず走ったりもします。町内でインディアカをやっています。汗もかくし、運動不足解消にもなります。学生時代からの野球もあります。
- 北原** 女性は、とかく口うるさいですね。ストレス解消は、カラオケや、家族と遊ぶこと。夏休みのキャンプ、旅行。酒を飲むこともあります。
- 石井** 身近なことでは、女性に言いたいことはありません。ストレス対策は、眠るのが一番。それで全部忘れまます。
- 司会** 率直なお話を、ありがとうございました。男女共同参画社会の実現には、ぜひお力を貸してください。よろしくお願いいたします。

に期待したい

つまり、女性の社会参加と人間的成長を実のあるものにしていくためには、男性自身がどうしたらいいかを、生活の現場で、「具体的に考え、実践していく」ことが、「共生」のキーポイントになると思う。いま男性たちは、その入口で、とまどっているはずだから、ときには、うまくサポートしていくことも大切ではないだろうか。

「男女共同参画」とは、「人間の多様な生き方を認め、誰もが、自分らしく、人間らしく生きていける社会をめざすもの」「差別と偏見をなくし、すべての人間の人权を保障しようとするもの」だという理解と実践が、これから着実に広がっていくことを、ぜひとも期待したい。



No.1

このシリーズでは女性のための起業やSOHO についての情報をお知らせしていきます。
今回は起業を志す女性たちで発足したグループを紹介します。

起業・SOHO通信

※SOHO…Small Office Home Officeの略で社員が数人の小規模事務所や自宅を事務所にする在宅勤務者などの総称

Nextage ネクステージ企画室

静岡の女性の輝けるステージを創造する



さまざまな技能をもつメンバー

ネクステージとは？

静岡市女性会館「第1回女性のための起業セミナー」修了生有志で平成15年に発足しました。

「ネクステージ」とは、Next stage(自分を生かすステージ)、Next age(これからの人生の充実)の2つの意味をあらわしており、様々な経験や能力をもつメンバーの「人のネットワーク」をつくって活動しています。

1人ではできなくても、色んな経験や能力を持つ人が協力することで、楽しいことや皆の役に立つことが出来る。そんな活動を積み上げていきたいと思っています。

メンバーには

メンバーは起業を志す女性で、20代~50代と幅広く、店舗経営の経験者から転職経験者までさまざま。メンバーのもつ技能もフィナンシャルプランニング、陶芸、パソコン、保育など多岐にわたります。赤ちゃんのことからお年寄りのことまで、生活全般をカバーできます。

それぞれの魅力を引出す

活動の目的は、①人が出会う場を提供し、幸せと充実と語らいの時間を創造する②各々が持つ、培われた経験と技能を活かし輝かせるステージを提供する③企画する側も参加する側も共に自らの生きがいを見出す場とすることです。

具体的にはセミナーやイベントの企画及び活躍の場の創出、紅葉山(もみじやま)庭園での「着物を楽しむ会」などを実施しています。

夢は女性の起業支援のNPO法人設立

「起業と企業と行政のマッチング」を目ざしていきたいと思います。それは気軽に自分の特技を活かして社会に出てくる人を増やし、ネットワークが広げることは勇気や希望を持つことにつながります。

いつまでも自分を活かす場を持つために高齢者を人材とした「アクティブシニア・ワークステーション」そして、女性の起業を応援するNPO法人の設立と、夢はまだまだふくらんでいます。



ネクステージ企画室

本部 TEL/FAX 054-254-5613 大原
E-mail: mama-oohara@k3.dion.ne.jp

事務局 TEL/FAX 054-264-0570 吉枝
E-mail:yoshieda@mvh.biglobe.ne.jp



「着物を楽しむ会」にて



女性学・ジェンダー研究フォーラムに参加

平成15年8月22～24日の3日間、国立女性教育会館(NWEC:ヌエック)で「女性学・ジェンダー研究フォーラム」が開催されました。このフォーラムでは、102件の自主企画ワークショップ等をはじめ、多様な研究・教育実践活動の課題や成果が発表され、全国各地から集まった人たちの情報交換やネットワークづくりが行われました。

このフォーラムに市内から2つのグループが自主企画ワークショップで参加し、発表しましたので、その内容を報告します。



全国各地から集まった多くの人たちが交流し、学び合いました

アイセルカレッジ倶楽部

まつしたみつえ

代表:松下光恵 連絡先:TEL054-248-7330(静岡市女性会館)

「アイセルカレッジ倶楽部」は、静岡市主催のアイセル女性カレッジの5期修了生が作ったグループです。5期生は「女性労働」について1年間学習し、「非正規労働の女性に関するアンケート」を設計・実施しました。常葉学園大学の居城舜子教授にご指導いただきながら受講生自ら集計・分析を行い、調査結果をもとに話し合った「提言」を盛り込んだ報告書をまとめました。

講座で学習した成果をさらに全国の皆さんに知っていただきたいと、このフォーラムに参加し、「これでいいの？ 私たちの働き方」と題するワークショップを運営し、多くの参加者を前に調査の報告を行いました。

私たちが提言した働く女性のためのガイドブック作成、職業教育講座開催、起業支援、自治体ワークシェアリングは多くの方の共感を得ることができました。また、意見交換ではカレッジが市担当者と受講生の協働による企画・運営だった点も高く評価されました。

ここで学んだことをこれからの活動にしっかりと生かしていきたいと思っています。



ワークショップ「これでいいの？ 私たちの働き方」

静岡県男女共同参画センター交流会議

あきのせいこ

代表:秋野征子 連絡先:TEL054-250-8147(事務局)

「静岡県男女共同参画センター交流会議」は、県内の女性団体や個人などを会員とする組織で、このフォーラムのワークショップに、初参加。静岡県内で、650人を対象に実施した「男性のジェンダー意識調査」の結果を「男を斬る」というタイトルで発表。定員50名の会場は、北海道から九州まで各地から参加した人たちで満員となりました。

『男らしさ』があることについては、ほぼ半数の男性が肯定的な回答をし、『女らしさ』があることを肯定する比率は、『男らしさ』があることを肯定する比率よりも高くなっている。「独身男性の約60%、既婚男性の約67%が、男のメンツ・プライドを大切にしたいと考えている」など、一見、理解がありそうにみえて、中身は保守的な男性の意識の実態を、レポートしました。

平成16年度は、同じ設問票を使って、女性のジェンダー意識の実態を調査し、男女の意識の違いを分析する予定です。



ワークショップ「男を斬る」

シリーズ
元気なグループ紹介
No.1

サッカー 女子レフェリースクール

※レフェリー……審判



9～10月にアメリカで開催されたサッカー女子ワールドカップでは、日本代表選手が健闘しました。世界的にも女子サッカーの人気は高まりつつあり、女子レフェリーの活躍する場も多くなっています。



サッカー女子レフェリースクールのメンバー

サッカーどころ静岡らしいグループ

「サッカー女子レフェリースクール」は、女性を対象にしたサッカーレフェリー養成講習を実施しており、現在は20～40代の小学生の母親・教員等18人が参加しています。

参加する人は、子どもの試合でレフェリーをするために必要な人、部活動の指導者、もっと大きな試合でレフェリーをする技術を習得したい人など、さまざまです。



試合でホイッスルを吹くメンバー

更なるステップアップ

講習では、実技指導を重点に1対1で指導し、判定の合図の出し方から、反則の判断などの技術・フェアプレイの精神を学びます。また、実際に子どもたちの試合でレフェリーを務め、互いに批評したりしています。

初心者のスクール生にとっては、静岡県女子サッカーリーグ等でホイッスルを吹く女性たちが、後進の指導をすることがとても心強いそうです。

「受講生はみんな先入観がなく、どんどん吸収するので上達が早い」とスタッフの代表、静岡県サッカー協会中部支部小澤和弘さん。

参加者は運動不足解消、体力アップ、美容をかねて、さらに上級レベルのレフェリーを目指して日頃から技術の向上や体力づくりに務めています。

●連絡先

静岡県サッカー協会中部支部審判委員会スクール担当

ながしま ひろゆき

長島 広幸

TEL090-3553-3851 (携帯電話)

E-mail:s-family@r4.dion.ne.jp

Topics

「子どもを生き育てやすい社会」に向けて

次世代育成支援対策推進法が公布・施行されました

厚生労働省の人口動態統計によると、1人の女性が生涯に産む子供の数(合計特殊出生率)は、平成14年に1.32と過去最低を更新しました。こうした急速な少子化に対応するため、平成15年7月に次世代育成支援対策推進法が公布・施行されました。

平成27年3月31日までの時限立法で、国や地方公共団体による取組とともに、300人超規模の企業も、仕事と子育ての両立を図るために必要な雇用環境の整備等を進めるための「行動計画」を策定・実施することとされています。

次世代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備にむけた取り組みが、さらに充実していくことが期待されます。



男女共同参画を推進するための行動計画を検討しています



市民の意見を聞く会

男女の人権を尊重し、その個性と能力が十分に発揮できる男女共同参画社会。その実現を目指し、旧静岡市・旧清水市が合併してできた新・静岡市では平成15年4月1日に「静岡市男女共同参画推進条例」を施行しました。

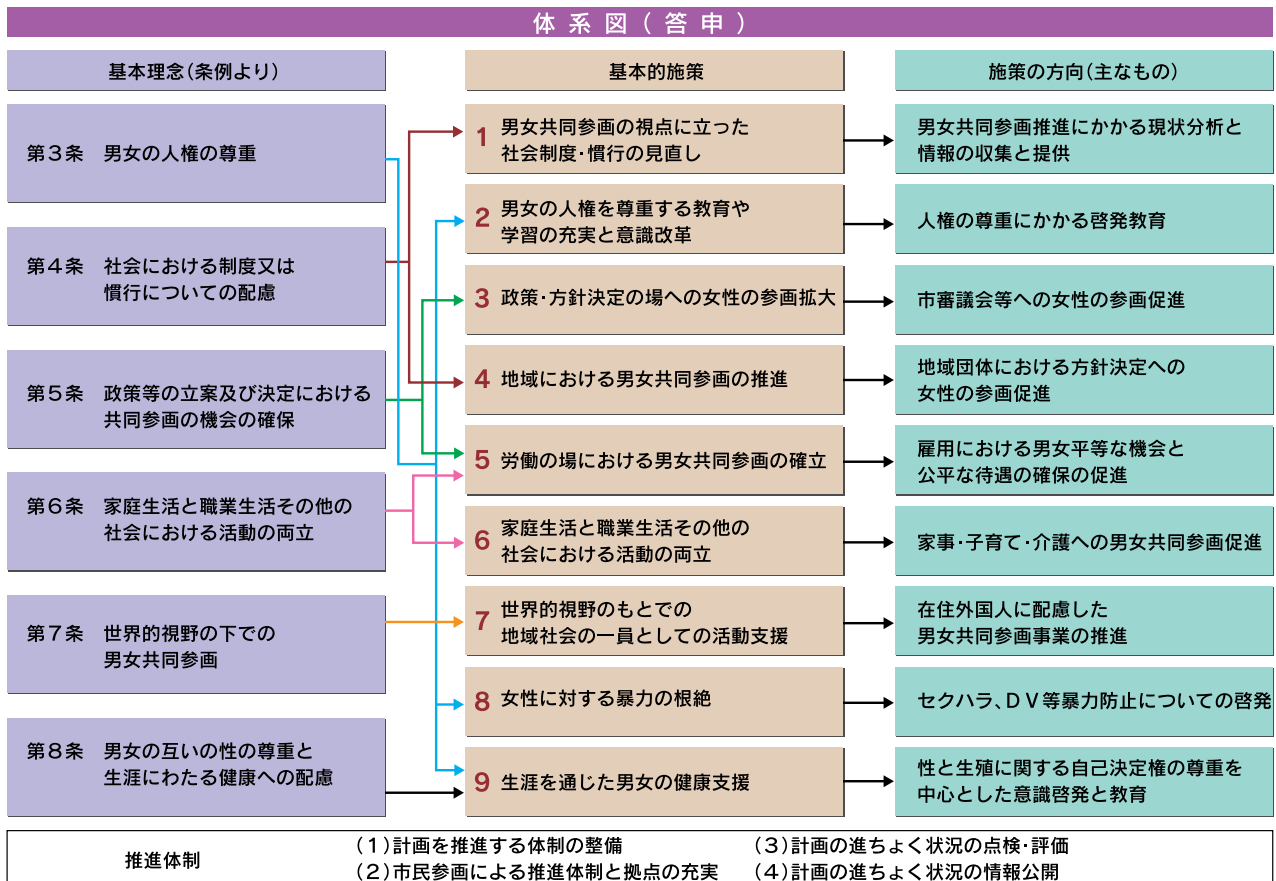
この条例を受け、市民委員で構成される「静岡市男女共同参画審議会」において、行動計画の基本的考え方について審議され、平成15年11月には市長へ答申が行われました。

審議に当たっては、旧両市で策定・推進されてきた各計画をベースに、市の現状と課題分析がされ、条例の基本理念に基づく具体的施策についても検討がされました。

8月には広く市民の方々の意見を取り入れるため、計画素案の中間報告が公表され、「市民の意見を聴く会」を開催した結果、173件の市民の意見が寄せられました。この意見は審議会の中でも協議され答申にも反映されました。

この答申をふまえ、市では実効性のある行動計画を策定し、男女共同参画社会に向けた取組みをさらに推進していきます。

体系図（答申）



Topics

女性差別撤廃条約にもとづく取組みについて審査が行われました。

法整備については「評価」、DV等の暴力防止・賃金格差の解消への取組み等については「要請」がされました。

女性に対するあらゆる形態の差別を撤廃するため、1979年に女性差別撤廃条約が国連で採択され、日本では1985年にこの条約を批准しました。

この条約の実施について進ちょく状況を検討する女性差別撤廃委員会がありますが、締結国は条約にしたがって行った措置等について4年に一度、報告書を提出する義務があります。2003年7月8日には日本政府が提出した第4次(1998年提出)、5次(2002年提出)の各報告書に対して審査が行われました。

審査の中で「男女共同参画社会基本法」制定や「配偶者暴力防止法」の制定などが高く評価されました。

一方で、政策決定や司法の場における女性の参加を拡大するための取組を行うことが勧告され、DV等の女性に対する暴力への取組強化や男女間の賃金格差解消が要請されました。

先進国の一員として、我が国が男女共同参画の推進に一層取り組んでいくことが期待されています。

絵本には人が生きていく上で大切なあらゆることが、最もわかりやすい言葉と絵で描かれています。子どもたちに、夢、安らぎ、勇気を与え、生きる力、世の中を肯定する前向きな考え方をさりげなく示してくれるのが絵本です。

現実の生活で体験できることは限られていますが、絵本の中には、多様な人生のモデルがいっぱいあります。ここでは、『ともだち』というキーワードで、絵本の中に、どんな女の子、男の子が描かれているかみてみましょう。



くさがや けいこ
草谷 桂子
家庭文庫「トモエ文庫」主宰



『フランスのおともだち』

ラッセル・ホーバン作 リリアン・ホーバン絵 松岡享子訳

好学社 1972年(アイセル21図書コーナー、静岡中央・清水中央・追手町・南部・北部・夙科・西奈・長田図書館所蔵)



くまの女の子フランスの日常生活を描く人気シリーズの1冊です。フランスは仲のよい男の子の友だち、アルパートたちと野球がしたくてたまりません。けれど、「女の子は入れてあげない」とことわられてしまいます。

そこで、ひるまないのがフランス。妹と組んで、「なかよしどうしの運動会。男の子はおことわり」というプラカードを作り、ワゴンに山盛りのごちそうを乗せて、食いしん坊のアルパートを挑発します。作戦はみごと成功！「男の子のいない運動会なんて、ちっともおもしろくないぜ」というアルパートにフランスは「女の子の入らない野球ほどじゃないわ」とこたえます。

「女の子はだめ」と言われてもあきらめないで、しつかり、しかもユーモラスに自分の意見を主張するフランスも、自分の了見の狭さを素直に認めて、反省し相手を受け入れるアルパートも、それぞれ魅力的です。対等だから、真のともだちになれるのですね。

『ともだち』

谷川俊太郎・文 和田誠・絵 玉川大学出版部

2002年(アイセル21図書コーナー、静岡中央・清水中央・追手町・南部・北部・西奈・長田図書館所蔵)

「ともだち」をテーマにした『ともだちって』『ともだちなら』『どんなきもちかな』などの6編の詩と、分かりやすい絵と写真が一体となっている絵本です。例えば、『ともだちはともだち』では、「すきなものがちがってもともだちはともだち。ことばがつつじなくてもともだちはともだち。としがちがってもともだちはともだち。人間じゃなくてもときにはともだち。おかあさんとおとうさんもときどきともだちみたい。」と続きます。プラモデルで飛行機をつくる女の子と、編み物が好きな男の子、日本人と外国人のお友だち、年齢に関係なく、また動物たちとも共生している世界が自然に描かれてシンプルな言葉の中に、詩人の深い思いが感じられます。

障害のある子や、開発途上国で飢えに苦しむ子などの写真も挿入され、世界中の人と人が繋がりあえたら、どんなに平和だろうと思わせてくれる、奥行きのある1冊です。



http://www.city.shizuoka.shizuoka.jp/
e-mail:sankaku@city.shizuoka.shizuoka.jp

発行／静岡市企画部男女共同参画課
企画編集／市民編集又ツツ 石光夫美子・大橋章二・佐藤弘恵・堀川美紀子・吉田充代
〒420-0862 静岡市追手町5番1号 ☎054-221-1349